

大府市は 私の同級生。



大府市の「伴走者」 山口 裕次

>>PROFILE 1970(昭和45)年9月1日、大府市
誕生と同じ日に生まれる。

昭 和45年9月1日、県内24番目の市として誕生した大府市。その大府市と同じ日に生まれた山口裕次さん。広報おぶでは、市制施行記念の節目に、山口さんを追いかけて、当時から掲載を続けています。

西小学校の4年生だった山口さんの作文が掲載されました。今回は、当時の思い出や現在の活動の取材を通して、山口さんの人柄に迫ります。

9月1日は特別な日

「大府市と同じ誕生日で、周りの方からどんな声を掛けられますか。同級生や近くに住んでいる方は、私が9月1日生まれであることを知って

います。大府市と同じ誕生日だと覚えてもらっているのが、9月1日が近くなると「裕次、そろそろ誕生日だね」と私の話題が出てきます。

縁の下の力持ちで 学校を支えたい

「現在は、どんな活動をしていますか。今は、私たちが平成24年に共和西小学校の保護者で立ち上げた965くろこ



▲965 隊のみんなでハイ、チーズ

隊のOBとして、活動しています。私の子どもが小学校に通っていた頃、学校の手助けをしたいという思いがきっかけとなり、965隊を立ち上げました。今では、地元生まれの方と、新しく共和に住み始めた方が一緒に、未来を担う子どもたちのための活動を行っています。965隊は、地域の交流の場にもなっています。

「965隊の活動を教えてください。」

草刈り、プール清掃、運動会の準備、小学校のサッカーゴールの修繕、共長公民館まつりの出展、パーベ

「山口さんの思う、共和のまちづくりは?」

「この50年で、共和地区は劇的に変わりました。今の子どもたちが私のように地元が好き「地元に戻りたい」と思ってもらえるようなまちを作り上げたいです。」

「一次の50年に向けて、挑戦したいことはありますか?」

「大府市と一緒に、100歳を祝っていただけのように長生きしたいです。祝ってもらったことを皆さんに自慢したいです。」

「最後に市民の方にメッセージをお願いします。」

「大府市はとても住みやすいまちになったと思います。お互いに「住みやすいね。大府!」と言い合えるようなまちになるよう、皆さんで「いいまち大府」を作っていきたいですね。」



1



2



3



4

- 1 965隊のメンバーとその家族
- 2 プール清掃を終えて
- 3 965隊のロゴマーク
- 4 暑い中での除草活動



▲1971年9月1日号



▲1975年9月1日号



▲1980年9月1日号



▲2010年9月1日号